

10月2日（水） 2024年度秋季リーグ戦第5節1回戦

【試合結果】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
神戸大	0	0	0	0	0	0	1	0		1
阪公大	0	4	0	0	0	0	0	3		7

神戸大学(3塁側)

対

大阪公立大学(1塁側)

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	左	日下	4	畝傍	3	0	1	
	走左	荻根澤	4	早稲田摂陵	0	0	0	
2	二	太田	4	市立西宮	4	1	0	
3	右	伊藤	3	長田	4	1	0	
4	捕	喜田	4	長田	3	0	0	
5	三	増田	4	大阪国際大大和田	4	1	0	
6	指	茂見	3	昭和薬科大学付属	3	1	0	
7	中	大隈	4	郡山	2	1	0	
8	一	古川	4	市立西宮	3	1	0	
9	遊	永野	4	倉敷青陵	1	0	0	
	打	緒方	4	帝塚山	1	0	0	
	遊	内田	4	帝塚山	0	0	0	
	打	豊田	4	四日市	0	0	0	
	走	大内	3	春日丘	0	0	0	
	遊	友金	1	県立伊丹	0	0	0	
投		友定	3	彦根東	-	-	-	
		池田	4	天王寺	-	-	-	
		山形	1	済々黌	-	-	-	
		吉賀	4	鳥羽	-	-	-	
		狩山	4	三国丘	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	8	3	1	1	0	28	6	1

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	中	根来	2	府立生野	5	3	4	
2	遊	疋田	3	広島新庄	5	2	1	
3	右	前田	2	須磨学園	3	1	2	
4	指	上网	1	泉陽	1	0	0	
	打指	中村	4	市立西京	3	0	0	
5	左	林	1	大阪明星	3	1	0	
6	三	石守	3	札幌開成中等教育学校	3	0	0	
7	一	大西	3	長田	3	2	0	
8	二	樋口	3	刈谷	2	0	0	
9	捕	小田竜	3	県立伊丹	4	1	0	
投		片山	2	府立池田	-	-	-	
		吉岡	2	大阪明星	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	8	7	1	2	0	32	10	7

【投手成績】

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
友定	3 2/3	104	22	19	5	3	6	4	2
池田	0 1/3	4	1	1	0	1	0	0	0
山形	2	35	6	3	1	1	0	0	0
吉賀	1	16	4	3	0	2	1	0	0
狩山	1	22	7	6	4	1	0	3	3
合計	8	181	40	32	10	8	7	7	5

【投手成績】

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
片山	7	126	29	25	6	8	3	1	1
吉岡	1	15	3	3	0	0	0	0	0
合計	8	141	32	28	6	8	3	1	1

【戦評】

今日勝てば優勝が決まる、大事な一戦。目の前の一つ一つのプレーを大切に、チーム全員で勝利を掴もうと、試合に挑みました。

本日先発の片山（生2・府立池田）は1回表、テンポの良い投球を見せ、神戸大打線を3人で抑えます。

2回表には四球により先頭打者に出塁を許すもその後の打者を抑え、得点を与えません。

最初にチャンスが訪れたのは2回裏、この回先頭の林（工1・大阪明星）が右中間への二塁打を放つと、続く石守（経3・札幌開成中等教育）、大西（法3・長田）が四球を選び出塁し、満塁のチャンスを作ります。その後二死まで追い込まれるも、一番打者の根来（経2・府立生野）が7球目を捉え打球はレフト前へ。これにより石守、大西が生還し、2点を先制します。さらに続く疋田（工3・広島新庄）の鋭い打球が相手の失策を誘い、またしても満塁とすると、前田（現2・須磨学園）の強襲ヒットにより2点を追加。この回計4点を獲得します。

片山は落ち着いた投球により、3回を三者凡退で抑えます。4回には先頭に安打を許すも、続く打者を3人連続で三振に抑える好投を見せます。

3回裏、大西、樋口（工3・刈谷）がそれぞれ安打、四球で出塁し一二塁とするも、得点には繋げることは出来ません。

4回裏にも、前田、中村（文4・市立西京）の四球に暴投が重なり、一三塁のチャンスも作るも、無得点に終わります。

5回表、片山は安打、犠打によりランナーを二塁まで進めると、続く打者にも安打を許し、一死一三塁とします。しかしその後、樋口、疋田の二遊間コンビの華麗な併殺によりピンチを無失点で切り抜けます。

追加点が欲しい後半戦。6回裏には根来が安打で、7回裏には前田が四球で出塁するも、代わった相手投手を前に打線が繋がりにません。

守備では7回表、二つの安打などにより一死一三塁のピンチを背負います。その後4人目の打者をセンターフライに打ち取り二死まで追い込むも、後続に連続四死球を与え、押し出しで1点を失います。その後も満塁のピンチは続きますが、最後は本日8個目の三振を奪い、最少失点で切り抜けます。

片山に代わって8回表のマウンドに上がった吉岡（法2・大阪明星）は、落ち着いた素晴らしい投球により、相手打線を三者凡退に抑えます。

その裏、先頭の大西がライト前へ安打を打ち出塁します。続く樋口が犠打を成功させ大西は二塁まで進むと、その後小田竜（工3・県立伊丹）もライト方向へ安打で続きます。一死一三塁のチャンスの場面で打席に立ったのは、本日2打点の根来。捉えた打球はレフトを越える三塁打となり、大西、小田竜は生還します。さらに続く疋田のセンター前への適時打により根来も生還し、この回一挙3点を奪います。

連盟規定の時間制限により8回裏で試合終了。7-1で勝利いたしました。